

現代人気作家陶芸展



穴窯から生まれる紫志野
〈紫志野〉 伊藤公洋

志野の豊かで温かな味わいの茶盥や花入、重厚な趣の黄瀬戸の鉢、壺、花入、煎茶器、食器などを得意とする。

作家来場日 25日(水)・28日(土)・29日(日)



信楽・織部に挑む
〈信楽焼〉 澤克典

伝統的な信楽のみに捉われず、弥七田織部や赤織部や志野などの作品も手掛けられ、信楽に新しい風を吹き込んでいます。

作家来場日 25日(水)



陶という素材で詩を詠う
〈セラミックアート〉西村芳弘

陶という素材と技法で人間や動物をモチーフに、詩や物語を連想するようにして創られる作品は、立体的絵画作品とも評されています。

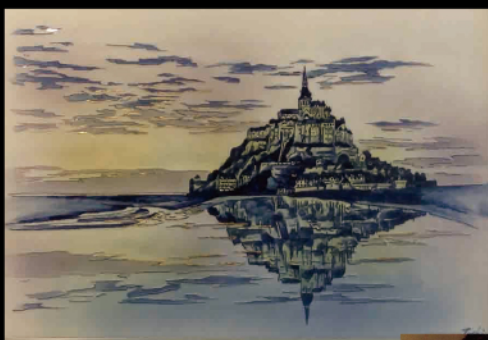
作家来場日 25日(水)



黒が織りなす幻想的な世界
〈備前焼〉 馬場隆志

その自由なフォルムと色彩は、代表作となる「トルソ」をはじめ、「大地の器」「窯変黒」「窯変青」など、様々な作品群を生み出しました。

作家来場日 27日(金)～29日(日)



白磁をキャンパスに独自の情景を刻む
〈有田焼〉 辻聡彦

有田磁器に線刻技法により、土のめくれの強弱で呉須で描くだけでは表現できない立体感と奥行きを生み出す独自の情景を表現。

作家来場日 26日(木)



～桃山を想ふ～
〈瀬戸赤津〉 山口真人

定評のある黄瀬戸、志野をはじめ、織部、琳派様式を大胆にとり入れた「琳派織部」シリーズなどで人気。



※作家来場日は都合により変更になる場合がございます

同時開催

中村信喬 人形展

会場 松菱 6階 美術画廊

作家来場 3月28日(土)・29日(日)

ギャラリートーク 3月28日(土)午後2時～
※都合により変更になる場合がございます



きんとき
金時



ちくしひな こうりん
筑紫雛 光琳



げつきゅう
月宮



はるくに
遙かな国

なかむら しんきょう
中村信喬

- 1957年 福岡県に生まれる 福岡県在住
- 二代目人形師父衍涯、人間国宝 林駒夫、陶芸家 村田陶苑に学ぶ
- 1989年 日本工芸会正会員認定
- 1997年 第15回伝統工芸人形展文化庁長官賞受賞
- 1999年 第46回日本伝統工芸展高松宮記念賞受賞
- 2001年 第48回日本伝統工芸展鑑査委員(以降4回)
- 2011年 ポーラ伝統文化財団優秀賞受賞、ローマ ラ・ルーチェ展招待出品
- 2012年 金沢21世紀美術館「工芸未来派」招待出品
- 2016年 伊勢神宮「ぬくもりの表現-次世代へつなぐ心と技-」招待
- 2017年 ライオンズクラブ国際大会モニュメント制作福岡空港内 薬師寺食堂完成 日本の百選に選ばれ「薬師寺幻影」奉納
- 2019年 ローマ教皇 拝謁・作品(中浦ジュリアン像)献上



パブリックコレクション
東京国立近代美術館
金沢21世紀美術館
岐阜県現代陶芸美術館
パチカン(パチカン市国)
熱海 MOA 美術館に作品収蔵

九州産業大学美術館客員教授
公益社団法人日本工芸会理事
日本工芸会西部支部常任幹事